

I. 看護学部卒業時アンケート調査の概要

1. 目的

- 1) 学生自身が看護学部における学びを振り返り、看護学部の教育、支援及び自己の成長について評価する。
- 2) 1)の結果に基づき、看護学部の継続的な教育改善に役立てる。

2. 実施

- 1) 対象：東京純心大学看護学部 令和3(2021)年度卒業生 74名
- 2) 時期：令和4(2022)年2月15日
- 3) 配付・回収方法：令和4(2022)年2月15日の看護師国家試験自己採点・連絡の中にて配付、回答後即回収
- 4) 回収状況：69名(回収率93%)

3. 質問項目

- 1) DP(「ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針」)の習得状況に関する自己評価
- 2) 看護学部の教育(講義・演習・実習)改善の必要性について
- 3) 看護学部の支援について
- 4) 学生の成長について
- 5) 看護学部の教育に対する満足の程度について

II 調査結果

1. DP(ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針)の自己評価について

		習得状況					無回答	
		① いる 身につ いて	② ある 程度身 につい ている	③ い えな い どち らと も	④ つ いて いな い あ ま り 身 に	⑤ い な い 身 につ いて		
D P 1	豊かな人間性と倫理観をもとに、人間の尊厳と権利を擁護する態度を身につけている。	豊かな人間性	36 (52%)	26 (38%)	5 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (3%)
		倫理観	39 (57%)	25 (36%)	3 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (3%)
		人間の尊厳と権利を擁護する態度	43 (62%)	22 (32%)	2 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (3%)
D P 2	自己理解・自己受容をもとに、自己を活用した対人支援力を身につけている。	自己理解・自己受容	32 (46%)	32 (46%)	3 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (3%)
		対人支援力	33 (48%)	32 (46%)	2 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (3%)
D P 3	看護を必要としている人々に、的確な看護判断のもとで確実に実践できる基礎的能力を身につけている。	看護判断力	15 (22%)	43 (62%)	9 (13%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (3%)
		看護実践力	13 (19%)	43 (62%)	10 (14%)	1 (1%)	0 (0%)	2 (3%)
D P 4	地域社会の包括的ヘルスケアシステムの一員として、人々の健康生活に貢献する基礎的能力を身につけている。	貢献しようとする態度	31 (45%)	30 (43%)	5 (7%)	1 (1%)	0 (0%)	2 (3%)

D P 5	看護専門職として自らの価値観を形成し、成長し続けられるための基礎を身につけている。	看護専門職として自らの価値観	27 (39%)	36 (52%)	4 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (3%)
		成長し続ける力・学び続ける力	29 (42%)	34 (49%)	3 (4%)	1 (1%)	0 (0%)	2 (3%)

☞ 「①身につけている」、「②ある程度身につけている」と回答したものを合わせると、「豊かな人間性」、「倫理観」、「人間の尊厳と権利を擁護する態度」、「自己理解・自己受容」「対人支援力」「看護専門職として自らの価値観」「成長し続ける力・学び続ける力」において、90%を超える高い習得状況を示している。一方、「看護実践力」において、81%とやや低くなっている。

D P達成状況

		習得状況					無回答
		①身につけている	②ある程度身につけている	③どちらともいえない	④あまり身につけていない	⑤身につけていない	
DP1	豊かな人間性と倫理観をもとに、人間の尊厳と権利を擁護する態度を身につけている。	118 (57%)	73 (35%)	10 (5%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (3%)
DP2	自己理解・自己受容をもとに、自己を活用した対人支援力を身につけている。	65 (47%)	64 (46%)	5 (4%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (3%)
DP3	看護を必要としている人々に、的確な看護判断のもとで確実に実践できる基礎的能力を身につけている。	28 (20%)	86 (62%)	19 (14%)	1 (1%)	0 (0%)	4 (3%)
DP4	地域社会の包括的ヘルスケアシステムの一員として、人々の健康生活に貢献する基礎的能力を身につけている。	31 (45%)	30 (43%)	5 (7%)	1 (1%)	0 (0%)	2 (3%)
DP5	看護専門職として自らの価値観を形成し、成長し続けられるための基礎を身につけている。	56 (41%)	70 (51%)	7 (5%)	1 (1%)	0 (0%)	2 (3%)

☞ 「①身につけている」、「②ある程度身につけている」と回答したものを合わせると、「DP1」が92%、「DP2」が93%、「DP3」が82%、「DP4」が88%、「DP5」が92%と、いずれも高い割合になっている。

【参考】ディプロマ・ポリシーに関わる評価平均値

		平均値
DP1	豊かな人間性と倫理観をもとに、人間の尊厳と権利を擁護する態度を身につけている。	2.2
DP2	自己理解・自己受容をもとに、自己を活用した対人支援力を身につけている。	2.2
DP3	看護を必要としている人々に、的確な看護判断のもとで確実に実践できる基礎的能力を身につけている。	2.2
DP4	地域社会の包括的ヘルスケアシステムの一員として、人々の健康生活に貢献する基礎的能力を身につけている。	2.2
DP5	看護専門職として自らの価値観を形成し、成長し続けられるための基礎を身につけている。	2.7

*各ディプロマ・ポリシーを達成する必修科目の最終評価の平均

2. 看護学部の教育（講義・演習・実習）改善の必要性について

		①改善の必要がある	②改善の必要はない	③どちらともいえない	無回答
1)	4年間の講義について	21 (30%)	22 (32%)	25 (36%)	1 (1%)
2)	4年間の演習について	13 (19%)	31 (45%)	24 (35%)	1 (1%)
3)	4年間の実習について	15 (22%)	34 (49%)	19 (28%)	1 (1%)

☞看護学部の教育（講義）の改善の必要性について、「①改善の必要がある」と回答した割合は30とやや高かった。

3. 看護学部の支援

		①とても充実していた	②充実していた	③どちらともいえない	④あまり充実していなかった	⑤充実していなかった	無回答
(1)	アドバイザーによるサポート・相談について	19 (28%)	26 (38%)	20 (29%)	1 (1%)	2 (%)	1 (1%)
(2)	進路・就職に対するサポート・相談について	15 (22%)	29 (42%)	16 (23%)	3 (4%)	5 (7%)	1 (1%)
(3)	国家試験対策に対する支援について	15 (22%)	30 (43%)	19 (28%)	2 (3%)	2 (3%)	1 (1%)

☞「①とても充実していた」、「②充実していた」と回答したものを合わせると、「(1) アドバイザーによるサポート・相談」が65%、「(2) 進路・就職に対するサポート・相談」が63%、「国家試験対策に対するに対する支援」が65%と、いずれも高い割合になっている。

4. 本学での学びや体験を通して、入学時と比べた成長の程度

		①とても成長した	②成長した	③どちらともいえない	④あまり成長しなかった	⑤成長しなかった	無回答
	本学での学びや体験を通して、入学時と比べてどの程度成長したか。	27 (39%)	32 (46%)	8 (12%)	1 (1%)	0 (0%)	1 (1%)

☞「①とても成長した」、「②成長した」と回答したものを合わせると86%と高い割合になっている。

5. 看護学部の教育に対する満足の種類

		①とても満足している	②満足している	③どちらともいえない	④あまり満足していない	⑤満足していない	無回答
	看護学部の教育に満足しているか。	8 (12%)	38 (55%)	18 (26%)	3 (4%)	1 (1%)	1 (1%)

☞「①とても満足している」、「②満足している」と回答したものを合わせると67%となっている。